



1 タイ古式マッサージの施術前に足湯がついています
3 オリジナルのバンブータイストレッチ

2 サッカー選手の息子さんに体側を伸ばすストレッチをする様子
4 ゆったりとした個室でリラックスしながら施術が可能

受賞歴のある親子が経営 タイ古式マッサージに新風

(株)healing OFF 代表取締役 常本 真由子氏

healing OFF (南区相模大野)は、2022年3月に創業し、タイ古式マッサージ店を相模大野と鷺沼の2店舗で展開しています。常本真由子社長(写真左)はタイマッサージ大会で、2年連続ファイナリストに残った実力者。現在はオーナー経営者として、店舗運営を娘の常本菜々美さん(写真右)らに任せ、自身は後進を育成するためにスクール講師業に力を入れています。今後は多店舗展開にも乗り出す方針で、3店舗目の出店も検討中です。今回はタイ政府認定セラピストである同社常本真由子社長に、サービスや今後の展望について聞きました。

サッカー選手の息子のために始める

常本社長がセラピストを始めたのは10年以上前で、「当時、高校生で

サッカーをしていた息子の常本佳吾選手(現在はスイスのプロサッカーリーグ・FCバーゼルに所属)のマッサージができれば良いと思い、もみ

ほぐし屋さんの無料講習会に参加したことがきっかけでした(常本社長)。その後、大手もみほぐし店で働き、毎月100人以上の指名を受けるなど、トップセラピストとして賞を2度獲得したといいます。この賞は年間1200件以上を獲得したセラピストの中から、全国で40名ほどが選ばれるという狭き門でした。

また、もみほぐし店以外にも、タイ古式マッサージ店やストレッチ店でも勤務経験を積み、こうした中でタイ古式マッサージに興味を持ちました。「セラピストになってみると、

マッサージが面白くてはまってしまい、そのままこの仕事を本業にしよう」と、全く異業種での起業を決意しました。

親子でコンテスト受賞

その後、常本社長は一念発起し、19年秋にタイに渡り、タイ古式マッサージを本格的に学びました。当時、米国に留学していた菜々美さんも合流し、親子二人で技能を磨くことになったのです。「私は『タイ古式マッサージ WNTC 2022年/2023年 日本大会』と『タイ古式マッサージ WNTC 2022年 スイス大会』のファイナリストになり、娘は全日本タイマッサージ大会2024『Nuad Thai Free Style』部

門で竹を使った施術(バンブータイストレッチ)を考案して優勝しました」。そして24年6月に2店舗目の鷺沼店をオープンしました。現在は、娘の菜々美さんが相模大野店の店長を任されています。

マル経融資で2店舗目を出店

常本代表は、鷺沼店を出店する際に相模原商工会議所の推薦で、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金(マル経融資)を受けました。「資金調達の面で助かりました」と振り返ります。社内では、「従業員の技術を高めるとともに、従業員同士が仲良くなり働きやすい環境を作りたいと思い、月1回練習会を実施しています」。それというのも「スタッ

フは全員女性ですが、社内の雰囲気良くなっていくと、それがお客様にも伝わり、顧客満足度も高まると考えているからです」と常本社長。

今後は地域のイベントへの参加なども検討中で、「夫婦間などパートナーへのプレゼントや、敬老の日に祖父母への感謝の気持ちを伝えるためにマッサージを受けてもらうなど、家族向けのプランも広げていきたいですね」と、地域密着での事業展開を目指しています。

(株)healingOFF

〒252-0303
相模原市南区相模大野3-17-18
サンハイツ相模大野第2
TEL: 042-711-6005
https://healingoff.com